

令和 7 年度第 1 回茨城県医療審議会
(茨城県地域医療構想調整会議合同) 会議録

- 1 日 時 令和 7 年 9 月 3 日 (水) 1 4 時 0 0 分から 1 4 時 3 0 分まで
- 2 場 所 茨城県庁 1 1 階 1 1 0 3 会議室 (W e b 会議 (対面併用) として開催)
- 3 出席者 別添「参加者名簿」のとおり

4 議 事

(1) 定足数の確認

事務局司会 (医療政策課課長補佐 佐藤) は、医療審議会について委員総数 2 1 名に対し、出席委員 1 9 名であることを確認し、茨城県医療審議会運営要領 (以下「要領」という。) 第 4 条第 2 項に規定する定足数に達したことを宣した。

(2) 新任者、出席者の紹介

今回から新たに委員として加わった中島委員、小田川委員の紹介を行った。

茨城県医療審議会委員のほか、茨城県地域医療構想調整会議の構成員として各構想区域における調整会議の議長が出席していることを報告した。

(3) 事務局の紹介

病院事業管理者の軸屋、保健医療部長の丸山、保健医療部次長の小野ほか、保健医療部及び福祉部、病院局の関係課長等が出席していることを報告した。

(4) 議長の選任

要領第 4 条第 1 項の規定により、松崎会長が議長に就いた。

(5) 会議録署名人の指名

議長は、要領第 1 1 条第 1 項の規定に基づく会議録署名人に、間瀬委員及び草野委員を指名した。

(6) 会議の公開

議長は、本会議を公開とすることについて意見を求めたところ、異議なく承認された。

(7) 議事

議長は、事務局に次の事項の説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行い、質疑応答及び意見交換 (別紙参照) が行われた。

● 報告事項

- (1) 第 8 次茨城県保健医療計画の進捗状況について
- (2) 令和 6 年度病床・外来機能報告の結果について
- (3) 病床機能再編支援補助金に係る病床の削減について
- (4) 地域医療介護総合確保基金に係る令和 6 年度事業の事後評価について
- (5) 地域医療支援病院の名称使用承認について

- (6) 届出により一般病床を設置する診療所の承認について
- (7) 令和 7 年度医師派遣調整の状況について

以上をもって全ての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。

上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和 7 年 9 月 1 6 日

茨城県医療審議会会長

松崎 信夫

会議録署名人

間瀬 寛多朗

会議録署名人

草野 朋子

令和7年度 第1回 茨城県医療審議会
(茨城県地域医療構想調整会議 合同)

参加者名簿

○ 委 員

区 分		役 職 名	氏 名	摘 要
医師・ 歯科医師・ 薬剤師	医師会	茨城県医師会会長	松 崎 信 夫	会議室出席
	医師会	茨城県医師会副会長	間 瀬 憲多朗	オンライン参加
	歯科医師会	茨城県歯科医師会会長	榊 正 幸	オンライン参加
	薬剤師会	茨城県薬剤師会副会長	草 野 朋 子	オンライン参加
	病院協会	茨城県病院協会会長	塚 田 篤 郎	会議室出席
医療を受ける立場にある者	市町村	茨城県市長会副会長	小田川 浩	欠 席
	保険者	茨城県国民健康保険団体連合会常務理事	森 田 達 也	オンライン参加
	被保険者(福祉)	茨城県社会福祉協議会副会長	榊 原 利 至	オンライン参加
	被保険者(介護)	茨城県介護支援専門員協会副会長	浅 野 有 子	オンライン参加
	被保険者(女性)	茨城県女性団体連盟会長	本 多 美知子	オンライン参加
	被保険者(生協)	茨城県生活協同組合連合会副会長理事	青 木 恭 代	オンライン参加
学識経験のある者	医学	筑波大学副学長・理事・附属病院長	平 松 祐 司	オンライン参加
	公衆衛生	筑波大学教授	我 妻 ゆき子	オンライン参加
	地域医療	筑波大学教授	田 宮 菜奈子	欠 席
	看護	茨城県看護協会会長	中 島 貞 子	オンライン参加
	栄養管理	茨城県栄養士会常務理事	鈴 木 薫 子	オンライン参加
	救急業務	茨城県消防長会会長	大 信 成 人	オンライン参加
	地域医療	茨城県訪問看護事業協議会会長	後 藤 則 子	会議室出席
	介護	茨城県介護福祉士会副会長	大兼久 つかね	オンライン参加
	法律	弁護士	上 畠 佳 子	オンライン参加
	その他	茨城県議会議員	川 津 隆	会議室出席

○ 専 門 委 員

役 職 名	氏 名	摘 要
筑波大学執行役員	原 晃	オンライン参加

○ 各構想区域調整会議議長等

役 職 名	氏 名	摘 要
水戸地域医療構想調整会議議長 (水戸市医師会会長)	細 田 弥太郎	オンライン参加
日立地域医療構想調整会議議長 (多賀医師会会長)	横 倉 稔 明	オンライン参加
常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議議長 (那珂医師会会長)	小野瀬 好 良	オンライン参加
鹿行地域医療構想調整会議議長 (鹿島医師会会長)	坏 正 紀	会議室出席
土浦地域医療構想調整会議議長 (土浦市医師会会長)	塚 田 篤 郎	会議室出席
つくば地域医療構想調整会議議長 (つくば市医師会会長)	成 島 淨	オンライン参加
取手・竜ヶ崎地域医療構想調整会議議長 (取手市医師会会長)	眞 壁 文 敏	オンライン参加
筑西・下妻地域医療構想調整会議議長 代理 (筑西保健所長)	服 部 早 苗	オンライン参加
古河・坂東地域医療構想調整会議議長 代理 (古河保健所長)	野 田 秀 平	オンライン参加

○ 事務局（茨城県）

役 職 名	氏 名	摘 要
保健医療部長	丸 山 慧	会議室出席
保健医療部次長兼医療局長	小 野 幸 子	会議室出席
保健医療部企画室長	村 上 信 吾	会議室出席
保健医療部保健政策課長	中 村 珠 美	会議室出席
保健医療部健康推進課長	石 川 裕 子	会議室出席
保健医療部健康推進課 地域包括ケア推進室長	海老根 友 美	会議室出席
保健医療部疾病対策課長	増 田 淳 之	会議室出席
保健医療部疾病対策課 感染症対策室長	肥 後 琢 也	会議室出席
保健医療部疾病対策課 がん・循環器病対策推進室長	益 子 徹	会議室出席
保健医療部生活衛生課長	仁 藤 健 二	会議室出席
保健医療部医療局医療政策課長	江 寺 広 行	会議室出席
保健医療部医療提供体制再編担当課長	浅 野 裕 之	会議室出席
保健医療部医療局医療人材課長	渡 邊 輝 夫	会議室出席
保健医療部医療局薬務課長	花 塚 寿 美	会議室出席
福祉部障害福祉課長	伊 藤 康 司	オンライン参加
福祉部子ども政策局少子化対策課長	楊 箸 幸 恵	オンライン参加
福祉部子ども政策局子ども未来課長	菊 地 みち子	オンライン参加
病院局病院事業管理者	軸 屋 智 昭	会議室出席
病院局経営管理課長	丹 茂 樹	会議室出席
病院局経営管理課企画室長	岡 崎 一 裕	オンライン参加

令和7年度第1回茨城県医療審議会
(茨城県地域医療構想調整会議合同)
質疑応答・意見要旨

日時：令和7年9月3日（水）
14時00分から14時30分まで
場所：茨城県庁11階1103会議室
（Web会議（対面併用）として開催）

●報告事項

（1）第8次茨城県保健医療計画の進捗状況について

意見等なし。

（2）令和6年度病床・外来機能報告の結果について

浅野委員 地域包括ケア病棟等や地域包括医療病棟、介護医療院などが回復期病床に分類されることについて、医療機関が転換を検討する際に分類が曖昧で混乱が生じている。

事務局 地域包括ケア病棟は一律に回復期に分類されるわけではなく、提供する医療内容によっては急性期に分類される場合もある。回復期機能については、分類が曖昧であることから、新たな地域医療構想に向けて名称を「包括期機能」に変更し、再整理を行う予定と伺っている。

浅野委員 転換を躊躇する医療機関もあることから、今後も情報提供いただきたい。

（3）病床機能再編支援補助金に係る病床の削減について

（4）地域医療介護総合確保基金に係る令和6年度事業の事後評価について

意見等なし。

（5）地域医療支援病院の名称使用承認について

（6）届出により一般病床を設置する診療所の承認について

意見等なし。

(7) 令和7年度医師派遣調整の状況について

意見等なし。

その他全体を通した意見

草野委員 国は医療資源保護と医療費削減のためスイッチ OTC 化を推進しているが、緊急避妊薬は安全性が高く費用も安い一方で、厳重な管理が必要であり、性犯罪の隠蔽、無理やり飲ませる、転売などの悪用の恐れがある。万が一購入者を保護すべき理由が生じた場合、児童相談所や警察、裁判所などへの通報といった対応も必要になると考えられるため、個々の薬局任せではなく、行政と職能団体が共同して、県としても監督と指導を徹底すべき。この点について、県がどのように進めるのか、またスイッチ OTC 化が医療計画のどこに位置付けられるのか、教えていただきたい。

薬務課 国がスイッチ OTC 化の検討を進めていることは認識しているが、現状、県として具体的な内容は持ち合わせていない。緊急避妊薬については、薬剤師会等と連携し、保健所の監視指導などにおいて適切な対応を行っていきたいと考えている。

松崎会長 日本医師会でも国の動きから協議を開始していると、情報共有いただいている。緊急避妊薬の問題は大きいものの、他の一般用医薬品が安易なまま販売ルートだけが確立してしまうことで、さまざまな問題を引き起こす懸念がある。国の動きを把握しながら、医師会員や関係団体と共に対応を考えていくべきである。